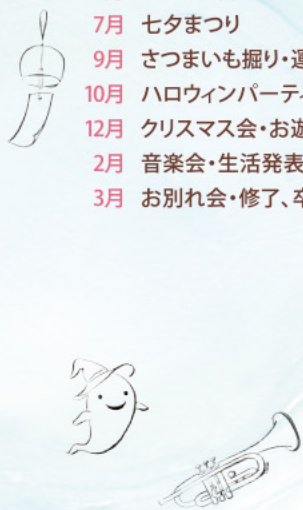
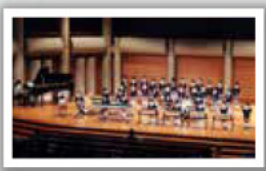


## 主な年間行事

- 4月 入園、進級式・園外保育
- 5月 こどもの日
- 7月 七夕まつり
- 9月 さつまいも掘り・運動会
- 10月 ハロウィンパーティ
- 12月 クリスマス会・お遊戯会
- 2月 音楽会・生活発表会
- 3月 お別れ会・修了・卒園式



## 募集要項

定員 135名

- 3号認定(保育園児)→0歳児6名 1歳児12名 2歳児12名
- 2号認定(保育園児)→3歳児20名 4歳児20名 5歳児20名
- 1号認定(幼稚園児)→3歳児15名 4歳児15名 5歳児15名

### 申し込みと選考について

保育園児→お住まいの市町村  
幼稚園児→孔雀こども園



### 保育時間

- 2・3号認定(保育園児)→7時から19時
- 1号認定(幼稚園児)→9時から14時30分

※幼稚園児は土・日・祝は休園、春休み、夏休み、冬休み有  
※保育園児は12月29日から1月3日休園

### 保育料

お住まいの市町村の基準に準じます。

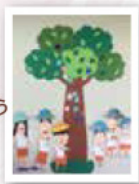


## 孔雀こども園 教育カリキュラム

ただ一つに力をいれていることは一つもありません!  
だからこそ、個性が活かされ、得意なものが見つかるんです

知育ワークを用いて数や文字の認識を目指します  
体育指導・英語指導・音楽指導をカリキュラムに導入

- 得意なもの、好きなものを見つけよう!
- 子どものやりたいこと、やってみようという気持ちを大切に
- 結果より過程を大切に
- 子どもは、無限の可能性を秘めている
- 苦手であっても、嫌いにならないように
- 失敗は成功の貴重な経験
- 最後まであきらめず、やりぬくちからを養う
- お友だちの悪いところではなく、良いところを見つけよう
- お互いを認め合える関係作り



社会福祉法人大瑠会  
幼保連携型認定こども園 **孔雀こども園**

〒675-0011 兵庫県加古川市野口町北野161番地  
☎079-424-2077 <https://www.kujaku-hoikuen.com/>

連携小規模保育所

孔雀  
ちっちゃん保育園

社会福祉法人大瑠会  
**孔雀ちっちゃん保育園**

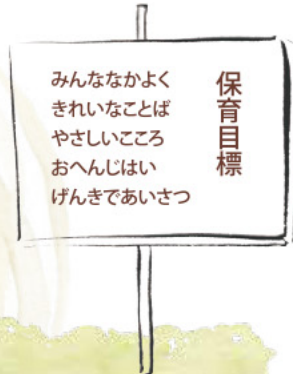
〒675-0011 兵庫県加古川市野口町北野1154-17  
☎079-424-2135

ルホソルキッズ

株式会社  
**ルホソルキッズ**

〒675-0011 兵庫県加古川市野口町北野1154-17  
☎079-451-7565

遊びの中こそ存在する豊かな学び  
経験と努力は、幼児期の最高の宝物  
情緒の安定には、笑顔とあいさつが一番!  
幼児期だからこそ培うことができる感謝の気持ち



孔雀こども園

検索



## 園長より

みなさんはじめまして。

孔雀こども園 園長の 大野 裕子です。

本園は創立50年以上、数多くの子どもを送り出してまいりました。園児たちは、大きな声で「おはようございます」送って来てもらった保護者の方に「ありがとう」という言葉から一日の園生活が始まり、毎日元気いっぱい園庭を走りまわっています。

本園は『遊ぶときは思いっきり遊び、頑張るときはしっかり頑張る!』をモットーに、子どもらしく、けじめある生活習慣を身につけて欲しいと願っております。子どもたちはそれぞれ違って当たり前。保育教諭もお母様方の相談に親身にお答えし、共に悩み、考えながら、よりお子様のためになるよう、一緒に日々頑張っております。

そして平成29年度より、本園の施設教育カリキュラムが認められ、幼保連携型認定こども園「孔雀こども園」となりました。ますます、保育と教育の両面に力を入れて参りたいと思っております。みなさまのお子様の、楽しい毎日のお手伝いをさせていただければ幸いです。



### 園内MAP



2F

- ①教材室・準備室 ②園長室 ③多目的室
- ④吹き抜け ⑤こかけのひろば ⑥ゆり
- ⑦ひまわり ⑧なでしこ ⑨更衣室
- ⑩うみのとれ ⑪もりのとれ



1F

- ①みんなのだいどころ ②遊戯室 ③倉庫
- ④玄関 ⑤職員室 ⑥相談室
- ⑦保健室 ⑧会議室 ⑨ほーむ
- ⑩もも・ちゅうりっぷ ⑪たんぼぼ

イメージカラーを用い、年齢別の教室や職員室がひと目でわかります。



## 経営理念

社会福祉法人大環会は、一人ひとりの子どもが大きく輝いてほしい!という願いから、未来社会を担う子ども達が思いやりの心と、大きく伸びやがで、健やかな自主的精神に満ちた心身共に健康な発達を遂げるための援助を目的に、奉仕の精神を基盤とした貢献を行い、健全な保育の業務遂行を図るものとする。



## 保育・教育理念

本園は、昭和45年創立以来、「子どもらしくのびのびと」をモットーに、「あいさつのできる元気な子」を柱に保育をしています。本物の考える力を育むには、服が汚れていても、切り傷、擦り傷ができて、思うままに遊ぶ姿を優しく見守る目が必要です。考える力は「生き抜く力」です。成長するにつれ次第に困難や苦労が増え、時には自分と考えが異なる人と協力していかなければならないこともあります。互いに感謝の気持ちを持ち、そんな時にいかに頭を働かせるか、それが「考える力」であり「生き抜く力」なのです。

それは幼児期にどれだけつらいことを乗り越え、笑える経験(達成感・満足感を味わう経験)をしたかがベースになります。その為に、本園で遊ぶ時は思いっきり笑い走り回り、学ぶときは一生懸命に取り組む、楽しみながらたくさんのお話を吸収し、けじめのある生活が身につくよう、日々心がけています。



## 遊びの中で…

相手の気持ちを思いやる優しい心が育つ  
してもらってうれしいことはお友だちにもしよう、  
されてイヤなことはお友だちにもしない

- 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える
- 異年齢とのかかわり
- 自己解決能力を養う
- 危険予知能力を養う
- コミュニケーション能力を養う



## 子どもの声が届く みんなの笑顔がみえる給食

子どもがのぞける高さ  
子どもの食事を見る事で、変化する食の形態

- 子どもと接することで箸の持ち方の指導や、食べ物の話をし、食に関心を持つ。  
例えば…この料理どうやって作るの? どうして○○(料理名)で言うの?
- 「おいしかったよ!」や「ちょっと苦手」の子ども生の声を聞くことで、次につなげられる様にする。  
例えば…レシピのアレンジや改正
- 卵・乳を使用しない給食なので、卵・乳のアレルギー未接種の子も同じ給食が食べられる。

